

第1号議案

新・宮城の将来ビジョンに係る令和4年度政策評価・施策評価について

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第13条の規定により、令和3年度における新・宮城の将来ビジョンに関する教育委員会の所掌に係る政策・施策及び事業について、別冊のとおり政策評価・施策評価を決定する。

令和4年8月10日提出

宮城県教育委員会教育長 伊 東 昭 代

令和4年度政策評価・施策評価の概要について

1 政策評価・施策評価の趣旨

行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第13条の規定に基づき、令和3年度に実施した「新・宮城の将来ビジョン」に係る政策・施策及び事業について、政策評価・施策評価を実施するもの。

評価結果については、知事部局において各実施機関の評価結果を合わせて評価書に取りまとめ、政策・財政会議での審議を経て、9月県議会において報告されることとなる。

2 政策評価・施策評価の方法について

評価に当たっては、各担当課室において、「新・宮城の将来ビジョン」に掲載されている事業の評価を行い、事業評価の結果や目標指標の達成状況等を踏まえて政策・施策の自己評価を行った。

また、政策評価・施策評価の客観性を確保するため、評価原案について、宮城県行政評価委員会の意見を聴取し、その結果を自己評価に反映している。今後、知事部局において、最終評価書の作成が行われる。

3 政策評価・施策評価の結果について

（全8施策、18施策のうち教育庁所管分）

番号	政策名	自己評価	番号	施策名	自己評価
3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる	—	7	家庭・地域・学校の協働による子どもを支える体制の構築	概ね順調
4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる	やや遅れている	8	多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	やや遅れている
			9	安心して学び続けることができる教育体制の整備	やや遅れている

4 今後の教育施策の推進に当たって

政策評価・施策評価の結果を踏まえ、「確かな学力の育成」や「体力・運動能力の向上」、「いじめ・不登校等への対応」などに重点的に取り組むとともに、現状と課題を分析し、より効果的な取組を一層推進する。

また、令和3年度から始まった「新・宮城の将来ビジョン」では、「子ども・子育て分野」が新たな柱とされ、「教育」についても重点的な取組方針とされたことから、学校・家庭・地域の連携・協働のもと、本県教育の基本理念である「志教育」を一層推進し、宮城の将来を担う人材の育成を図っていく。

令和4年度政策評価・施策評価に係る自己評価結果一覧

■ 新・宮城の将来ビジョン

参考資料2

番号	政策名【担当課】	自己評価	番号	施策名【担当課】	自己評価	目標指標等	初期値	実績値	目標値 (令和6年度)	達成率
3	子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる 【保健福祉部 子育て社会推進課】	-	7	家庭・地域・学校の協働による子どもを支える体制の構築 【生涯学習課】	概ね順調	県内における子ども食堂の数(箇所)【累計】	70箇所	103箇所	180箇所	30.0%
						里親委託率(%)	38.1%	40.7%	51.4%	19.5%
						朝食を毎日食べる児童の割合(小学6年生)(%)	96.5%	95.3%	97.0%	-240.0%
						市町村における子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーの活動者数(人)	300人	410人	300人	136.7%
						「家庭教育支援チーム」の活動件数(件)	79件	210件	101件	595.5%
						地域学校協働本部がカバーする学校の割合(公立小・中学校)(仙台市を除く)(%)	54.3%	63.9%	70.0%	61.1%
4	社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる 【教育企画室】	やや遅れている	8	多様に変化する社会に適応し、活躍できる力の育成 【義務教育課】	やや遅れている	保幼小接続のための「スタートカリキュラム」を作成している市町村立小学校の割合(仙台市を除く)(%)	17.6%	20.8%	50.0%	9.9%
						「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	90.6%	88.3%	92.0%	-164.3%
						「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	81.3%	79.6%	83.0%	-100.0%
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	95.3%	95.6%	95.0%	100.6%
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	93.8%	95.1%	94.0%	650.0%
						インターンシップやアカデミックインターンシップ等に取り組んでいる県立高等学校の割合(%)	72.7%	39.0%	80.0%	-461.6%
						新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離(ポイント)	1.1※ ｲｯﾄ	1.3※ ｲｯﾄ	1.0※ ｲｯﾄ	130.0%
						児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)(%)	94.0%	90.1%	94.8%	-487.5%
						児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)(%)	64.2%	70.7%	70.0%	112.1%
						児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)(%)	19.2%	13.7%	20.0%	-687.5%
						「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	73.2%	78.6%	77.0%	142.1%
						「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	73.2%	77.5%	77.0%	113.2%
			全国平均正答率とのかい離(小学6年生)(ポイント)	-3.0※ ｲｯﾄ	-3.5※ ｲｯﾄ	0※ ｲｯﾄ	-16.7%			
			全国平均正答率とのかい離(中学3年生)(ポイント)	-3.5※ ｲｯﾄ	-3.5※ ｲｯﾄ	0※ ｲｯﾄ	0.0%			
			大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離(ポイント)	0.2※ ｲｯﾄ	0.9※ ｲｯﾄ	1.5※ ｲｯﾄ	53.8%			
			児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生)(男)(ポイント)	-0.36※ ｲｯﾄ	-0.37※ ｲｯﾄ	0.1※ ｲｯﾄ	-2.2%			
			児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生)(女)(ポイント)	-0.33※ ｲｯﾄ	-0.44※ ｲｯﾄ	0.1※ ｲｯﾄ	-25.6%			
			児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生)(男)(ポイント)	0.08※ ｲｯﾄ	0.23※ ｲｯﾄ	0.1※ ｲｯﾄ	750.0%			
			児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生)(女)(ポイント)	-1.01※ ｲｯﾄ	-1.04※ ｲｯﾄ	0.1※ ｲｯﾄ	-2.7%			
			9	安心して学び続けることができる教育体制の整備 【義務教育課】	やや遅れている	保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(小学校)(%)	62.4%	40.8%	81.0%	-116.1%
						保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(中学校)(%)	48.5%	37.1%	61.0%	-91.2%
						学校関係者評価を広く公表している県立高等学校の割合(%)	77.9%	72.7%	85.0%	-73.2%
						特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合(%)	12.6%	28.3%	36.0%	67.1%
						「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	83.0%	85.8%	88.0%	56.0%
「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	79.4%	87.5%				82.0%	311.5%			
不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(小学生)(%)	68.5%	75.8%				80.0%	63.5%			
不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(中学生)(%)	72.6%	79.2%				80.0%	89.2%			
授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(%)	66.5%	67.2%	72.5%	11.7%						

※達成率が100%を超えている指標は網掛け

【政策評価の判定区分及び判定基準】

政策を構成する施策の必要性、有効性、効率性を考慮し、施策の成果等から見て、次のとおり判断されるもの。

順調 調：政策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。

概ね順調 調：政策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。

やや遅れている 遅：政策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。

遅れている 遅：政策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

【施策評価の判定区分及び判定基準】

施策を構成する事業の必要性、有効性、効率性を考慮し、目標指標等の達成状況、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、次のとおり判断されるもの。

順調 調：施策の成果が十分にあり、進捗状況が順調であると判断されるもの。

概ね順調 調：施策の成果がある程度あり、進捗状況が概ね順調であると判断されるもの。

やや遅れている 遅：施策の成果があまりなく、進捗状況がやや遅れていると判断されるもの。

遅れている 遅：施策の成果がなく、進捗状況が遅れていると判断されるもの。

【達成率】

目標値を上回ることを目標とする場合：実績値－初期値／目標値－初期値
目標値を下回ることを目標とする場合：初期値－実績値／初期値－目標値

第2号議案

第2期宮城県教育振興基本計画に係る令和3年度執行状況の点検・評価について

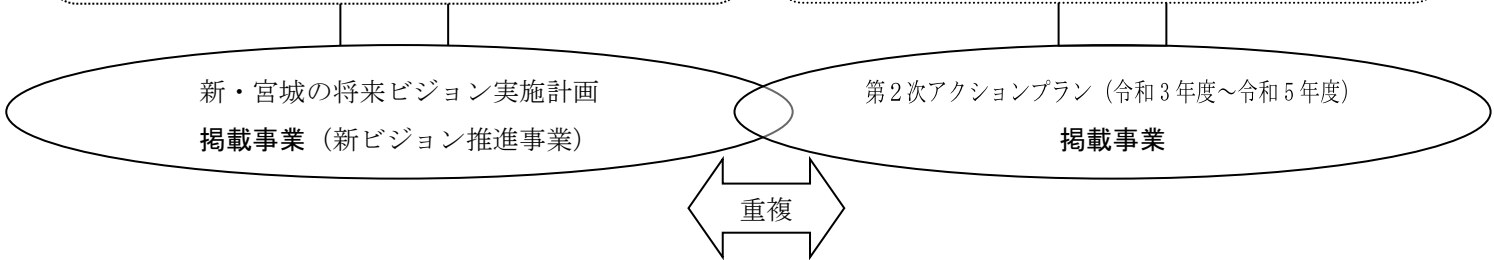
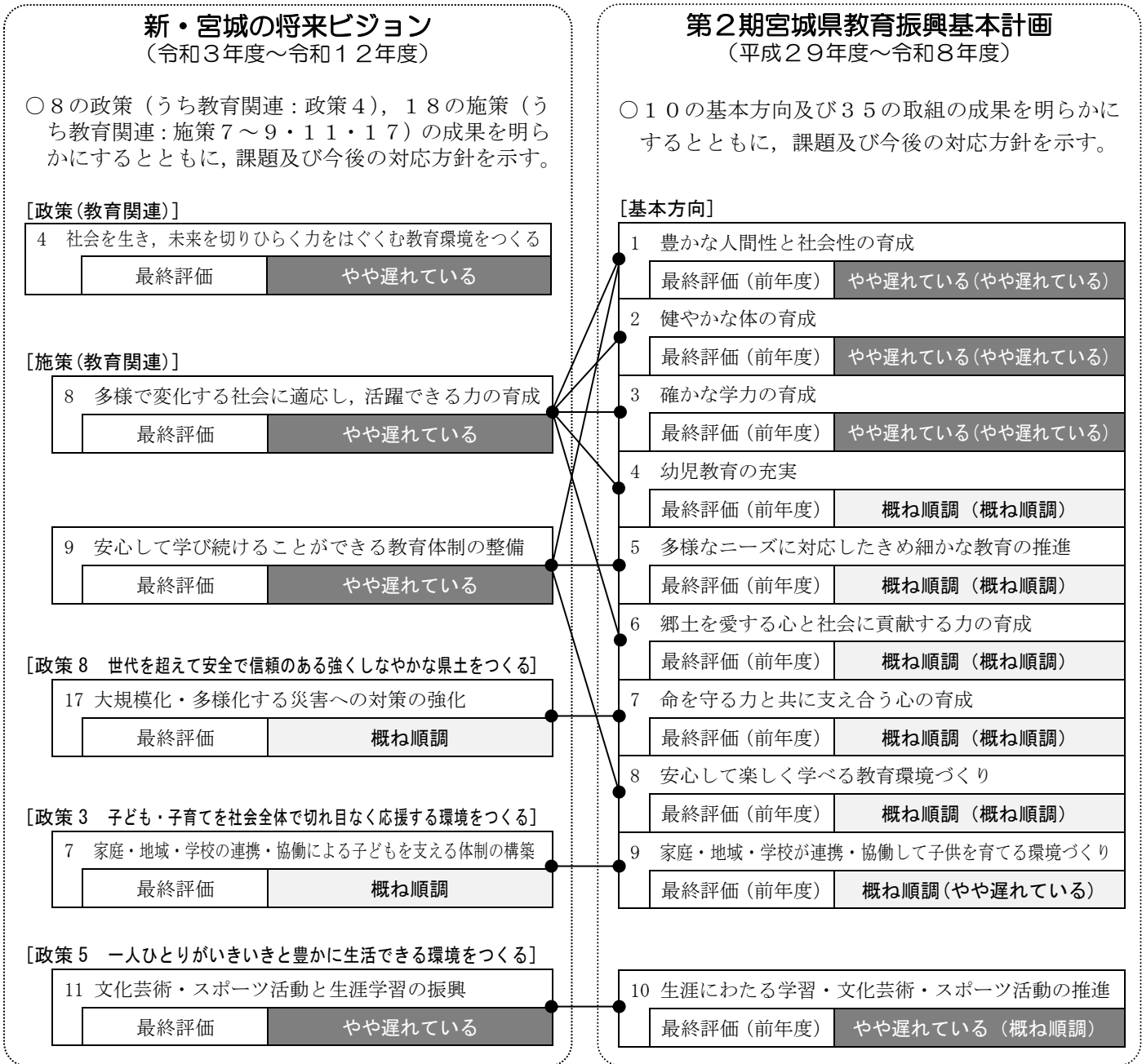
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、教育に関する事務の管理及び執行の状況について、別冊のとおり第2期宮城県教育振興基本計画の点検及び評価に関する報告書を作成し、議会に報告する。

令和4年8月10日提出

宮城県教育委員会教育長 伊 東 昭 代

「第2期宮城県教育振興基本計画に係る点検・評価」の評価結果（案）について

●—● 対応関係



【評価区分及び判断基準】

○第2期宮城県教育振興基本計画に係る点検・評価 → 「順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている」の4段階により評価

(基本方向評価) 基本方向を構成する取組の成果等の状況等により総合的に判断

(取組評価) 取組に設定している目標指標の達成状況、取組を構成する事業の実績及び成果等により総合的に判断

第2期宮城県教育振興基本計画の点検及び評価に関する報告書(案)の概要

※()内は前年度評価結果

目標1 自他の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。

基本方向1	豊かな人間性と社会性の育成	やや遅れている(やや遅れている)	基本方向2	健やかな体の育成	やや遅れている(やや遅れている)
【重点的取組評価結果】			【重点的取組評価結果】		
生きる力を育む「志教育」の推進		概ね順調(概ね順調)	健康な体づくりと体力・運動能力の向上		やや遅れている(やや遅れている)
思いやりがある感性豊かな子供の育成		概ね順調(概ね順調)	【主な取組の成果】		
いじめ・不登校等への対応、心のケアの充実		やや遅れている(やや遅れている)	★新たにwebマラソン大会を開催し、15校64学級の児童が体力向上に取組んだ。 ★3市町で体力・運動能力向上のモデル事業を実施した結果、終了後のアンケート調査で運動が「好き」と回答した児童が増加した。		
【主な取組の成果】			【主な評価理由】		
★志教育推進地区として2地区指定し、各地区に応じた志教育を推進した。 ★不登校及び不登校傾向にある児童生徒の学習支援と自立支援を図るため、14市町25校が「不登校等児童生徒学び支援教室」の実践校となり、児童生徒を支援した。			web運動広場の実施等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響下に対応した体力・運動能力向上の取組も進められたものの、中学生男子以外の体力合計点は依然として全国平均を下回っており、今後一層の推進を図る必要がある。		
【主な評価理由】					
小学校において学習支援を受ける割合が目標値まで伸びておらず、不登校児童生徒等が教育機会を確保できる体制の充実等について、今後一層の推進を図る必要がある。					

目標2 夢や志の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

基本方向3	確かな学力の育成	やや遅れている(やや遅れている)	基本方向4	幼児教育の充実	概ね順調(概ね順調)	基本方向5	多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進	概ね順調(概ね順調)
【重点的取組評価結果】			【重点的取組評価結果】			【重点的取組評価結果】		
基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長		やや遅れている(やや遅れている)	幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進		順調(順調)	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進		概ね順調(概ね順調)
【主な取組の成果】			【主な取組の成果】			【主な取組の成果】		
★5市町で重点的に学力向上対策を進め、学力向上PDCAサイクルの確立に向けた体制づくりや学力向上対策を推進した。 ★1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、研究指定地区において、大学等と連携してICTを活用した授業実践等を推進した。			★広報紙「学ぶ土台づくり」便りの発行や幼児教育ポータルサイトによる一元的な情報提供、幼児教育アドバイザー派遣事業等により、「学ぶ土台づくり」の理解促進を図った。			★新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各校においてWEB会議を活用して間接交流を実施し、小学生208名、中学生93名が児童生徒交流学習に参加し、共に学ぶ教育の推進を図った。		
【主な評価理由】			【主な評価理由】			【主な評価理由】		
学力向上に向けたPDCAサイクルに基づく授業改善や進路実現を支援する取組の充実等、学力向上対策を進められたものの、自らの可能性を最大限伸ばすための基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得についてはやや遅れが見られた。			やや遅れが見られる取組もあるが、目標指標の「平日、子供と触れ合う時間について、1時間以上」と答えた保護者の割合が目標値を上回るなど、着実な成果が見られた。			新型コロナウイルス感染症拡大に起因する研修会の縮小等により、目標値を下回った目標指標もあったものの、WEB会議を活用した間接交流の実施や特別支援学校の狭隘化対策等、各事業において一定の成果が見られた。		

目標3 ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。

基本方向6	郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成	概ね順調(概ね順調)	基本方向7	命を守る力と共に支え合う力の育成	概ね順調(概ね順調)	
【重点的取組評価結果】			【重点的取組評価結果】			
宮城の将来を担う人づくり		概ね順調(概ね順調)	系統的な防災教育の推進			概ね順調(概ね順調)
【主な取組の成果】			【主な取組の成果】			
★高等学校における進学拠点校充実普及事業における拠点校の取組や、「地学地就」コーディネーター等の配置により進路指導体制の充実が図られ、現役進学達成率は全国平均を上回り、就職内定率は前年度に引き続き高水準となった。			★新任校長や新規採用教職員を対象に、県内各地の震災遺構を活用した研修会を実施した。 ★学校防災の相談窓口を新たに設置し、大学等の学識者を学校防災アドバイザーとして学校等に22回派遣した。			
【主な評価理由】			【主な評価理由】			
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、小・中・高等学校とも計画通りに事業が展開できないこともあった中で、地域や企業等との連携を継続し、目標値の達成に近づく指標も多く見られた。			教職員の防災意識や防災スキルの向上を図ったほか、防災教育副読本「未来へのきずな」を活用した系統的な防災教育の実施等により、防災教育を含む地域に根ざした安全教育の取組が推進されている。			

目標4 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくる。

基本方向8	安心して楽しく学べる教育環境づくり	概ね順調(概ね順調)	基本方向9	家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり	概ね順調(やや遅れてる)
【重点的取組評価結果】			【重点的取組評価結果】		
教員の資質能力の総合的な向上		概ね順調(概ね順調)	家庭の教育力を支える環境づくり		概ね順調(やや遅れている)
学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実		概ね順調(概ね順調)	地域と学校の新たな連携・協働体制の推進		概ね順調(概ね順調)
開かれた魅力ある学校づくりの推進		やや遅れている(概ね順調)	【主な取組の成果】		
【主な取組の成果】			★宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用した研修会を16回実施し、590人が参加した。 ★コミュニティ・スクール推進協議会を市町村を対象に開催したとともに、県立高等学校においてパイロット校2校で学校運営協議会を設定した。		
【主な評価理由】			【主な評価理由】		
学校公開や学校評議員会の開催が新型コロナウイルス感染症拡大の影響に制限される等、やや遅れが見られる取組もあるものの、教員の資質能力の向上や学びのセーフティネット等、各取組で一定の成果が見られた。			家庭教育支援体制の活動件数の増加等、各事業で一定の成果が見られたとともに、家庭・地域・学校が連携・協働した各取組により、子供同士や大人との関わり合いを育む気運が醸成されてきている。		

目標5 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

基本方向10	生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進	やや遅れている(概ね順調)
【重点的取組評価結果】		【主な取組の成果】
誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実		★生涯学習情報を一元化して提供するポータルサイトを立ち上げ、講座情報や活動事例等を掲載した。
スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築		【主な評価理由】
		生涯学習情報の提供や総合型地域スポーツクラブの創設支援等について、今後一層の推進を図る必要がある。

第2期宮城県教育振興基本計画に係る点検及び評価の結果(案)一覧

参考資料3

番号	基本方向名 (評価担当課室)	最終評価 (前年度評価)	番号	取組名 (評価担当課室)	最終評価 (前年度評価)	目標指標等	達成状況 (達成率は初期値から目標値までの進捗割合を示したもの)								
							初期値	設定 年度	実績値	測定 年度	目標値 (R5)	達成率			
1	豊かな人間性と社会性の育成 (義務教育課)	やや遅れている (やや遅れている)	1	生きる力を育む「志教育」の推進 (「 重点的取組1 」 (義務教育課))	概ね順調 (概ね順調)	「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	90.6%	R1	88.3%	R3	92.0%	-164.3%			
						「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	81.3%	R1	79.6%	R3	83.0%	-100.0%			
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	95.3%	R1	95.6%	R3	95.0%	100.6%			
						「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	93.8%	R1	95.1%	R3	94.0%	101.2%			
						「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	78.8%	R1	73.8%	R3	83.0%	-119.0%			
			「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	69.8%	R1	72.7%	R3	76.0%	46.8%						
			2	思いやりがあり感性豊かな子供の育成 (「 重点的取組2 」 (義務教育課))	概ね順調 (概ね順調)	体験学習(農林漁業)に取り組む小学校の割合(%)	88.4%	R1	78.4%	R3	89.0%	-1666.7%			
						不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(小学生)(%)	68.5%	R1	75.8%	R2	77.0%	85.9%			
			3	いじめ・不登校等への対応、心のケアの充実 (「 重点的取組3 」 (義務教育課))	やや遅れている (やや遅れている)	不登校児童生徒のうち学習支援を受けている児童生徒の割合(中学生)(%)	72.6%	R1	79.2%	R2	78.0%	122.2%			
						「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)【再掲】	83.0%	R1	85.8%	R3	88.0%	56.0%			
「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)【再掲】	79.4%	R1				87.5%	R3	82.0%	311.5%						
2	健やかな体の育成 (保健体育安全課)	やや遅れている (やや遅れている)	1	健康な体づくりと体力・運動能力の向上 (「 重点的取組4 」 (保健体育安全課))	やや遅れている (やや遅れている)	児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(男))(ポイント)	-0.36%	△	-0.37%	△	0.06%	△	-2.3%		
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生(女))(ポイント)	-0.33%	△	-0.44%	△	0.06%	△	-26.8%		
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(男))(ポイント)	0.08%	△	0.23%	△	0.09%	△	1500.0%		
						児童生徒の体力・運動能力調査における体力合計点の全国平均値とのかい離(中学2年生(女))(ポイント)	-1.01%	△	-1.04%	△	0.06%	△	-2.8%		
2	食育の推進	-	学校給食の地産農産物・水産畜産物の利用品目数の割合(%)	40.1%	R2	36.7%	R3	41.5%	-242.9%						
3	心身の健康を育む学校保健の充実	-													
3	確かな学力の育成 (義務教育課)	やや遅れている (やや遅れている)	1	基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長 (「 重点的取組5 」 (義務教育課))	やや遅れている (やや遅れている)	「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	88.4%	R1	88.2%	R3	90.0%	-12.5%			
						「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	88.9%	R1	89.5%	R3	90.0%	54.5%			
						「授業が分かる」と答えた児童生徒の割合(高校2年生)(%)	57.5%	R2	56.0%	R3	59.0%	-100.0%			
						「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	73.2%	R1	78.6%	R3	76.0%	192.9%			
						「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	73.2%	R1	77.5%	R3	76.0%	153.6%			
						全国平均正答率とのかい離(小学6年生)(ポイント)	-3.0%	△	-3.5%	△	-0.7%	△	-21.7%		
						全国平均正答率とのかい離(中学3年生)(ポイント)	-3.5%	△	-3.5%	△	-0.8%	△	0.0%		
						児童生徒の家庭等での学習時間(小学6年生:30分以上の児童の割合)(%)	94.0%	R1	90.1%	R3	94.6%	-650.0%			
						児童生徒の家庭等での学習時間(中学3年生:1時間以上の生徒の割合)(%)	64.2%	R1	70.7%	R3	68.7%	144.4%			
						児童生徒の家庭等での学習時間(高校2年生:2時間以上の生徒の割合)(%)	19.2%	R2	13.7%	R3	20.0%	-687.5%			
						2	国際理解を育む教育の推進	-	英検相当級を取得している生徒の割合(中学3年生(3級程度以上))(%)	38.3%	R1	46.2%	R3	50.0%	67.5%
									英検相当級を取得している生徒の割合(高校3年生(準2級程度以上))(%)	36.2%	R1	41.0%	R3	50.0%	34.8%
						3	ICT(情報通信技術)教育の推進	-	授業中にICTを活用して指導することができる教員の割合(%)	66.5%	R1	67.2%	R3	71.0%	15.6%
4	社会形成・社会参加に関する教育(シチズンシップ教育)の推進	-													
5	環境教育の推進	-													
4	幼児教育の充実 (義務教育課)	概ね順調 (概ね順調)	1	幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進 (「 重点的取組6 」 (義務教育課))	順調 (順調)	平日、子供と触れ合う時間(食事と入浴を除く)について、1時間以上と答えた保護者の割合(%)	91.6%	R1	90.2%	R3	90%以上	100.2%			
						2	幼児教育の充実のための環境づくり	-	保幼小接続のための「スタートカリキュラム」を作成している市町村立小学校の割合(%)	17.6%	R2	20.8%	R3	40.0%	14.3%
						3	幼児教育の推進に向けた体制づくり	-							
5	多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進 (特別支援教育課)	概ね順調 (概ね順調)	1	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 (「 重点的取組7 」 (特別支援教育課))	概ね順調 (概ね順調)	小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合(個別的教育支援計画:特別支援学級)(%)	89.3%	R2	93.4%	R3	100.0%	38.3%			
						小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合(個別的教育支援計画:通級指導教室)(%)	94.1%	R2	86.6%	R3	100.0%	-127.1%			
						小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合(個別の指導計画:特別支援学級)(%)	83.6%	R2	90.1%	R3	94.0%	62.5%			
						小学校から中学校に、「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」を引き継いでいる割合(個別の指導計画:通級指導教室)(%)	77.3%	R2	77.9%	R3	90.0%	4.7%			
						特別支援学級が主催する研修会への中学校、高等学校教員の受講者数(人)	214人	R1	50人	R3	220人	-2733.3%			
						特別支援学校の児童生徒が居住地の小・中学校の児童生徒と交流及び共同学習した割合(%)	35.3%	R1	28.3%	R3	36.0%	-1000.0%			
2	多様な個性が生かされる教育の推進	-													

※達成率が100%を超えている指標は網掛け

番号	基本方向名 (評価担当課室)	最終評価 (前年度評価)	番号	取組名 (評価担当課室)	最終評価 (前年度評価)	目標指標等	達成状況 (達成率は初期値から目標値までの進捗割合を示したもの)						
							初期値	設定 年度	実績値	測定 年度	目標値 (RS)	達成率	
6	郷土を愛する心と 社会に貢献する力 の育成 (高校教育課)	概ね順調 (概ね順調)	1	伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成	-	「地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合(小学6年生)(%)	75.0%	R1	61.7%	R3	75.0%	-17.7%	
						「地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合(中学3年生)(%)	53.1%	R1	46.7%	R3	54.0%	-711.1%	
			3	宮城の将来を担う人づくり (重点的取組⑧) (高校教育課)	概ね順調 (概ね順調)	「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	33.2%	R2	52.7%	R3	36.0%	696.4%	
						「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	28.9%	R2	49.9%	R3	32.0%	677.4%	
						ボランティア活動を実施している公立高等学校の割合(%)	89.6%	R1	71.4%	R3	91.1%	-1213.3%	
						大学等への現役進学達成率の全国平均値とのかい離(ポイント)	0.26	ポイント	R1	0.96	ポイント	R2	1.46
新規高卒者の就職決定率の全国平均値とのかい離(ポイント)	1.18	ポイント	R1	1.36	ポイント	R3	1.06	ポイント	130.0%				
県内の高等学校卒業生が県内に就職した割合(%)	79.6%	R1	81.0%	R3	81.1%	93.3%							
インターンシップやアカデミックインターンシップ等に取り組んでいる県立高等学校の割合(%)	72.7%	R1	39.0%	R3	78.5%	-581.0%							
7	命を守る力と共に 支え合う心の育成 (保健体育安全課)	概ね順調 (概ね順調)	1	系統的な防災教育の推進 (重点的取組⑨) (保健体育安全課)	概ね順調 (概ね順調)	地域住民と連携した避難訓練を実施している学校の割合(%)	47.8%	R1	42.0%	R3	60.0%	-47.5%	
						2	地域と連携した防災・安全体制の確立	-	地域域学校安全委員会等の連絡会議を設置している学校の割合(%)	95.1%	R1	93.9%	R3
8	安心して楽しく学 べる教育環境づく り (教育企画室)	概ね順調 (概ね順調)	1	教員の資質能力の総合的な向上 (重点的取組10) (教職員課)	概ね順調 (概ね順調)	やや遅れている (概ね順調)	「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(小学5年生)(%)	83.0%	R1	85.8%	R3	88.0%	56.0%
							「学校は楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合(中学1年生)(%)	79.4%	R1	87.5%	R3	82.0%	311.5%
			2	教職員を支える環境づくりの推進	-		保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(小学校)(%)	77.2%	R1	40.8%	R3	80.0%	-1300.0%
			3	学びのセーフティネットの構築に向けた 学習環境の整備充実 (重点的取組11) (教育企画室)	概ね順調 (概ね順調)		保護者等に対して学校公開を実施している学校(小・中)の割合(中学校)(%)	56.7%	R1	37.1%	R3	60.0%	-593.9%
			4	開かれた魅力ある学校づくりの推進 (重点的取組12) (高校教育課)	学校関係者評価を広く公表している県立高等学校の割合(%)		77.9%	H30	72.7%	R3	84.0%	-85.2%	
			5	学校施設・設備の整備充実	-		学校外の教育資源を活用している公立高等学校の割合(%)	87.2%	R1	97.4%	R3	90.0%	364.3%
6	私学教育の振興	-											
9	家庭・地域・学校 が連携・協働して 子供を育てる環境 づくり (生涯学習課)	概ね順調 (やや遅れている)	1	家庭の教育力を支える環境づくり (重点的取組13) (生涯学習課)	概ね順調 (やや遅れている)	朝食を毎日食べる児童の割合(小学6年生)(%)	96.5%	R1	95.3%	R3	97.0%	-240.0%	
						平日、午後10時より前に就寝する児童の割合(小学5年生)(%)	67.5%	R1	66.4%	R3	68.0%	-220.0%	
						平日、午前6時30分より前に起床する児童の割合(小学5年生)(%)	61.6%	R1	63.1%	R3	63.0%	107.1%	
「家庭教育支援チーム」の活動件数(件)	79件	R1	210件	R3	96件	770.6%							
市町村における子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーの活動者数(人)	300人	R1	410人	R3	300人	136.7%							
2	地域と学校の新たな連携・協働体制の推進 (重点的取組14) (生涯学習課)	概ね順調 (概ね順調)	地域学校協働本部がカバーする学校の割合(%)	54.3%	R1	63.9%	R2	65.0%	89.7%				
「みやぎ教育応援団」の活用件数(件)	159件	R2	130件	R3	300件	-20.6%							
3	子供たちが安全で安心できる環境づくり	-											
10	生涯にわたる学 習・文化芸術・ス ポーツ活動の推進 (教育企画室)	やや遅れている (概ね順調)	1	誰もがいつでも学ぶことができる環境の 充実 (重点的取組15) (生涯学習課)	やや遅れている (概ね順調)	生涯学習プラットフォーム閲覧数(セッション数)(件)	0件	R2	5,488件	R3	36,000件	15.2%	
						2	多様な学びによる地域づくり	-	市町村社会教育講座の参加者数(人口千人当たり)(人)	744人	H30	279人	R3
			3	文化芸術活動の推進	-	みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化(文化芸術が身近な所で様々な分野に活用され地域の活性化に役立っていると思う人の割合)(%)	27.5%	R2	85.0%	R3	50.0%	255.6%	
			4	スポーツの価値を活用した生涯スポーツ 社会の構築 (重点的取組16) (スポーツ振興課)	やや遅れている (やや遅れている)	みやぎ県民文化創造の祭典参加者の意識の変化(不安を抱える方々の心のケアのために文化芸術の果たす役割が大切だと思う人の割合)(%)	66.5%	R2	92.7%	R3	77.0%	249.5%	
			5	競技力向上に向けたスポーツ活動の推進	-	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	77.1%	R2	77.1%	R3	94.3%	0.0%	

※達成率が100%を超えている指標は網掛け

第4号議案

学校教職員人事異動等方針の改正について

学校教職員人事異動等方針について、別紙のとおり改正する。

令和4年8月10日提出

宮城県教育委員会教育長 伊 東 昭 代

学校教職員人事異動方針

(新)	(旧)
<p>I (略)</p> <p>II 異動は、次の諸点に重点を置いて行う。</p> <p>1 (略)</p> <p>2 広域にわたる地域間異動（教育事務所間，市町村間，へき地指定地域との間における異動）や校種間異動（小学校，中学校，義務教育学校，高等学校及び特別支援学校間の異動）を図る。</p> <hr/> <p>3から6まで (略)</p> <p>IIIからVまで (略)</p> <p>VI この方針は、<u>令和5年度（令和4年度末を含む。）</u>における異動から適用するものとする。</p>	<p>I (略)</p> <p>II 異動は、次の諸点に重点を置いて行う。</p> <p>1 (略)</p> <p>2 広域にわたる地域間異動（教育事務所間，市町村間，へき地指定地域との間における異動）や校種間異動（小学校，中学校，義務教育学校，高等学校及び特別支援学校間の異動）を図る。</p> <p><u>宮城県・仙台市間の人事交流は、積極的に行う。</u></p> <p>3から6まで (略)</p> <p>IIIからVまで (略)</p> <p>VI この方針は、<u>平成30年度（平成29年度末を含む。）</u>における異動から適用するものとする。</p>

学校教職員人事異動等方針

- I 本県教育の充実向上並びに教職員の資質向上を図るため、本県の実態を踏まえ、長期的展望及び全県的視野に立って適材を適所に配置するよう学校教職員の異動を行う。
- II 異動は、次の諸点に重点を置いて行う。
- 1 有為な人材の登用を図る。特に相当期間、へき地教育、特別支援教育又は複数の教育事務所管内勤務等の経験を有する成績優秀な者については考慮する。
 - 2 広域にわたる地域間異動（教育事務所間、市町村間、へき地指定地域との間における異動）や校種間異動（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校間の異動）を図る。
 - 3 各学校及びその地域の実情を考慮して職員構成の適正化を図る。
 - 4 同一校在任期間の長い者については、積極的に異動を行う。
 - 5 へき地指定学校教職員及び特別支援教育担当教職員の充実強化に努める。
 - 6 東日本大震災からの復興の歩みを着実に推し進めるため、被災地域にある学校の教職員体制の充実強化に努める。
- III 異動は、市町村教育委員会、県立学校長との密接な連携のもとに行う。
- IV 再任用については、「公立学校教育職員の再任用制度運用方針」（平成26年7月23日施行）及び「宮城県教育委員会に属する事務職員等の新再任用制度運用方針」（平成26年4月1日施行）に基づき、教職員が長年培ってきた経験、知識及び技能を活用すべく、適切に配置する。
- V 学校種別ごとの人事異動に関する実施要領については、教育長がこれを別に定める。
- VI この方針は、令和5年度（令和4年度末を含む。）における異動から適用するものとする。